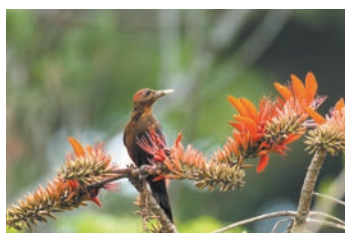


CONTENTS

- 2019年度 FUJITSUファミリー会 春季大会 2
- FUJITSUファミリー会論文 論文受賞者座談会 4
- ICT基礎講座 「量子コンピューティング」を学ぶ 6
- トップは語る 10
国立大学法人香川大学長 笈 善行氏
- 講演録 12
国際政治学者/山猫総合研究所 代表 三浦瑠麗氏
- HUMAN HUMAN 14
慶應義塾大学 医学部精神・神経科学教室 専任講師 佐渡充洋氏
- Family's Information 15
- 支部見聞録(中国支部) 18
From 鳥取

Family 2019 389号



表紙のことば (日本の鳥シリーズ)

沖縄支部

ノグチゲラ (沖縄)

沖縄県北部「やんばる」地域だけに生息する、全長30センチほどのキツツキ。シイなどの照葉樹の幹に、直径15センチ深さ50センチ前後の穴を開けて営巣する。

環境省のレッドリストで絶滅危惧A類に指定。からだ全体に赤みを帯び、オスは頭頂部も赤いのは、開発による生息地減少への危険信号を発しているからなのだろうか。



2019年度 FUJITSUファミリー会 春季大会

5月17日(金)、東京都千代田区の帝国ホテルで2019年度春季大会が開催され、全国から1,000名を超える会員・関係者が集まる盛況な大会となりました。



FUJITSUファミリー会
会長
内田 悟氏



富士通株式会社
代表取締役社長
田中 達也氏

全国から1,000名超が集結し 式典を開催

春季大会は内田会長の挨拶で幕を開けました。会長就任から目標に掲げてきた「会員数4,000超え」の達成を報告し、関係各位へ感謝を述べられました。2019年3月末時点の会員数は4,228。1年前より318会員の増加です。

2018年度は「グローバルな視点で“真の会員サービス”を創造」をスローガンに、会員の皆様がどのようなサービスを求めているのかを念頭において活動を展開。秋季大会を始め、ライブ配信映像によるセミナー受講や全国11支部の地域特性を活かした企画・運営などにより、全国でおよそ500のイベントを開催し、約27,000人もの方に参加いただきました。

国内最大級のICTユーザー会として、2019年度の活動では「顔が見える仲間を増やす」、つまり、ファミリー会の活動を積極的に活用していただき“ファンになっていただける方々を増やす”ことに注力していきます。そのためには、ビジネスのデジタル化を意識した活動と、企業の垣根を

越えた人財の育成に重点を置いた支援を、ファミリー会として取り組んでいきたいと語られました。

続いて富士通株式会社の田中社長が登壇し、「Human Centric Innovation : Driving a Trusted Future」をテーマに掲げて春季大会と同時期に開催する、富士通フォーラム2019を紹介。テクノロジーに対する信頼と皆様の信頼を支えるテクノロジーを追求し豊かな未来に貢献する、富士通の想いを述べました。6月に移行する新体制へのご支援もお願いしています。

FUJITSUファミリー会論文の入賞論文表彰の後には、国際政治学者の三浦瑠麗氏による記念講演「激変する国際情勢と日本」が行われました。(三浦氏の講演録は本誌P12-13に掲載)

式典・記念講演を終え 懇親会へ

現代的なテーマの講演に耳を傾けた後、会場を移して懇親会が開始。約600人という大勢の方が参加し、大盛況のうちに2019年度の春季大会は幕を下ろしました。



2019年度 活動方針

「変革の時代に対応し、多くの会員に支持される ファミリー会活動の追求」

IoTやAI、RPAなどの技術を活用したビジネスのデジタル化は、もはや企業においては必然となっており、今後ますます進展していくデジタルトランスフォーメーション(DX)時代への対応が求められている。またビジネスのボーダレス化に伴い、グローバル対応や企業の垣根を越えた共創型人財の育成なども喫緊の課題となっている。

2019年度のファミリー会は、このような環境変化を捉えた各種情報の提供や意見交換の場を積極的に提供していく。そして、多くの会員に支持されファミリー会活動の有意性を実感いただける活動を目指す。



国際政治学者
三浦 瑠麗 氏

懇親会



富士通挨拶

富士通株式会社
執行役員副社長
時田 隆仁 氏

乾杯挨拶

FUJITSUファミリー会
副会長
占部 真純 氏



中締め

FUJITSUファミリー会
九州支部長
仮屋 博 氏



ビジネスとICT戦略に役立つ情報提供

- 会員企業の経営や、ICT戦略に役立つICT最新動向(IoT、AI、RPAなど)や企業の先進活用事例の提供
- 部門(ICT、営業、管理、生産など)や階層(役員/部長課長、中堅若手層)など、参加者のニーズに合った活動の推進
- ビジネス変革やイノベーション創出につながる継続研究活動の推進
- ビジネススキル、ICTスキルの習得機会提供

グローバルな活動を促進する組織・個人を支援する取り組み

- 海外でのICT利活用やビジネスのトレンド情報提供等、グローバルな視野を養うためのセミナー・研修の開催
- 女性活躍、ダイバーシティを積極的に支援する活動の推進
- 個々の様々な能力が発揮でき、働き方改革につながる活動の推進

地域の特色を活かした活動の展開と支部間の相互コミュニケーション推進

- 地域の事情や特色を活かした活動の推進
- 全国どこでも均質のサービスが享受できるように、支部で好評な行事や取り組みの他支部展開
- e-Learningや遠隔地会員への講義映像のオンライン配信など、会員各位の参加機会の創出
- ファミリー同伴で有意義にご参加いただける活動の推進
- SNSなどを活用した広報活動を積極的に図る

災害復興支援活動の継続

- 災害復興支援は社会貢献の観点で継続的に取り組み、風化させないよう努める

LS研究委員会と各支部との一層の連携強化

- LS研究委員会と各支部とのシナジー効果を創出する活動の推進



2019年度の活動方針を語る、FUJITSU
ファミリー会会長・内田 悟 氏



大会に先立ち行われた総会では、2019年度の活動報告の後、2019年度の活動方針や予算案が承認された